

落雷への対策について

～ 雷から身を守るために ～

国立赤城青少年交流の家

1 雷鳴が聞こえたら

発達した積乱雲(入道雲)は、時に急な大雨、雷、竜巻などの激しい現象を引き起こします。積乱雲は「大気の状態が不安定」な気象条件で発生しやすくなります。気象情報に常に注意を払いましょう。

雷の音が聞こえたら、野外にいる人はすぐに安全な場所に避難しましょう。自分のいる場所にいつ落雷してもおかしくありません。

2 安全な場所に避難

頑丈な建物の中などに避難しましょう。テントへの非難は危険です。グラウンドなど周りに高い建物がなく周囲が開けた場所はとても危険です。雷は周囲より高いものほど落ちやすいという特徴があるため人に落雷しやすくなります。傘など、持ち物は体より高く突き出さないようにしましょう。

※野外活動中における国立赤城青少年交流の家での避難場所
センター棟・屋根付き広場

3 木から4m 以上離れる

雨宿りで木の下に入るのは大変危険です。落雷を受けた樹木等のそばに人がいると、その樹木等から人体へ雷が飛び移ること(側撃雷)があります。必ず木から4m以上離れてください。近くに避難する場所がない場合は、姿勢を低くしましょう。

4 その他

国立赤城青少年交流の家では、雷注意報(落雷)の発令時等、事故の可能性が高いと判断する場合、活動の中止をお願いすることがあります。

◎野外活動に役立つ HP(気象情報)

・気象庁「ナウキャスト」 <http://www.jma.go.jp/jp/radnowc/>

◎出典・参考資料

・気象庁ホームページ <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>